

おわりに

天竜川は市街地、農耕地、山地を蛇行して流れ、河原、淵、早瀬、平瀬、中洲などのさまざまな河川独特の環境を形成しています。狭窄部には緑豊かな斜面林が発達し、河原には草地、砂礫地、樹林などの環境が豊かで、さまざまな生物が多く生育・生息しています。河川敷にはカワラヨモギ、カワラハハコ、コマツナギのような河川固有の植物が生育し、カワラバツタ、スナゴミムシダマシ、ミヤマシジミのような河川固有の昆虫類が生息しています。そして、昆虫類を捕食する小鳥やカエルなどの動物や、さらにそれらを捕食する動物が河川に集まってきて、バランスの良い河川生態系をつくっています。

「暴れ天竜」と呼ばれる天竜川は、川が適度に暴れることによりさまざまな環境を形成し、河川に依存して生きる多くの生物を育んできたといえます。そしていつまでも、この豊かな河川の生態系が自然な姿のまま維持されていくことが望ましいと、誰もが思うはずです。

本書で紹介した昆虫類も、天竜川の生態系の一員として重要な役割をしています。もし、何らかの原因で天竜川から昆虫類がいなくなり、生態系のバランスが崩れてしまったら、やがて私たちの生活にも影響が出てくることは明らかです。しかしながら、天竜川をはじめ河川に生息する昆虫類については、あまり注目されませんでした。この冊子が多くの方々に読まれ、天竜川に生息する昆虫類に少しでも関心を持っていただき、身近な自然環境を見つめ直す参考となれば幸いです。

本書の作成にあたり、以下の方々に協力をさせていただきました。河川水辺の国勢調査アドバイザーの森本尚武信州大学長には、本書の監修をしていただきました。日本鱗翅学会評議員の井原道夫氏には、昆虫類の生態写真の提供および標本撮影に協力していただきました。松本むしの会の星野利雄氏には、本書の執筆の協力および昆虫類の生態写真を提供していただきました。以上の方々に心からお礼申し上げます。

【監修】

森本尚武（信州大学学長・農学博士・建設省河川水辺の国勢調査アドバイザー）

【写真】

井原道夫（日本鱗翅学会評議員）

星野利雄（松本むしの会会員）

細江崇（SERP）

各務寿（SERP）

株式会社 総合環境研究所（SERP）

【執筆協力】

星野利雄（松本むしの会会員）

【調査・執筆・写真・イラスト】

株式会社 総合環境研究所

高山光弘 桜井正明 細江崇 各務寿 吉田宏 稲富英彦 酒井周

天竜川上流の主要な昆虫類 平成12年3月

企画・発行 建設省中部地方建設局 天竜川上流工事事務所 調査課

〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10

TEL 0265(81)6415

編集 株式会社 総合環境研究所（SERP）

本社 〒399-0643 長野県松本市高宮南5-26-1 TEL 0263(27)5550

分室 〒399-0643 長野県松本市高宮南5-30 TEL 0263(27)5551

印刷 株式会社ブラルト 〒399-0099 長野県松本市大字笹賀5985

TEL 0263(28)8000